



256頁
予価：本体760円(税別)
ISBN978-4-591-17813-3
8111-357

著者プロフィール **森田碧**

北海道出身。2020年、LINEノベルのコンテストにて「死神の制度」が大賞受賞。2021年「余命一年と宣告された僕が、余命半年の君と出会った話」(ポプラ社)でデビュー。



余命0日の僕が、死と隣り合わせの君と出会った話

累計30万部突破! 「よめぼく」シリーズ最新作!

高2の瀬山慶は、涙失病——涙を流すと死に至る病を患っていた。幼少期から泣くのを我慢してきたが、母が亡くなったとき涙し、生死を彷徨ってしまう。以来全てに無感動な人間になっていた。そんな折、図書館で号泣していた星野涼菜から泣けるという本を借りるが、その縁で映画研究部——旧“感涙”部へ入部することに。やがて瀬山は彼女のある秘密を知って……? 初回搬入限定豪華仕様カバー予定。

好評既刊



『余命一年と宣告された僕が、余命半年の君と出会った話』

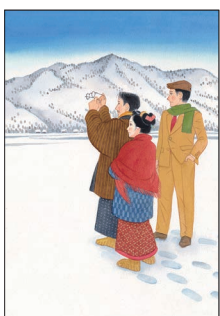


『余命99日の僕が、死の見える君と出会った話』



『余命88日の僕が、同じ日に死ぬ君と出会った話』

おしよりん



352頁(予定)
予価：本体800円(税別)
ISBN978-4-591-17811-9
8101-469

オススメ併売

著者プロフィール **藤岡陽子**

71年京都府生まれ。09年「いっまでも白い羽根」でデビュー。著書に「手のひらの音符」「跳べ、暁!」などがある。

北乃きい主演で映画化決定!!
眼鏡で世界を変えた兄弟の物語。

1905年、福井県麻生津村。冬は雪が深く、農業以外に産業のない寒村である。庄屋の増永五左衛門は、この地に産業を根づかせられないか試行錯誤していた。あるとき、大阪へ出稼ぎに出ている実弟の幸八から「日本で眼鏡が爆発的に普及する」という提案を受け、五左衛門は「ここで眼鏡を作ろう」と決断。ついに村での眼鏡づくりが始まるのだった……。



『下町ロケット』(小学館文庫)



『陸王』(集英社文庫)

四獣封地伝 落陽の姫は後宮に返り咲く



304頁(予定)
予価：本体740円(税別)
ISBN978-4-591-17812-6
8111-356

王女が素性を隠し後宮で成り上がる中華風ファンタジー!

欺瞞を引き起こす凶獣・窮奇を封印した仙人の子孫にして王女の詩雪は、誠国王族に伝わる「嘘を聞き分ける力」を持たず生まれ、周囲から蔑まれてきた。ある日、欲深い継母・呂芙蓉が国の実権を握らんと王を暗殺、自らの息子を新王とする。城を追われた詩雪は、謎の美青年・晶翠に助けられ身を潜めるが、ある日、宮女募集の噂を聞きつけ……?

オススメ併売

著者プロフィール **唐澤和希**

『転生少女の履歴書』で書籍化デビュー。他の著作に「後宮茶紀伝」シリーズ(KADOKAWA)、「五神山物語」シリーズ(スタート出版文庫)など多数。



『後宮茶紀伝 大茶妃伝』(富士見L文庫)



『後宮の百花輪』(双葉文庫)